

発行日 平成 31 年 3 月 25 日

日体大学

神奈川県

保護者会会報

タイトルロゴ 蒔谷 蘆 壺

2019



神奈川県保護者会の皆様へ



日本体育大学保護者会会長
雑賀 清吾

神奈川県保護者会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より本会の活動に対し、深いご理解と多くのご協力を賜り誠にありがとうございます。

昭和54年に設立致しました本会も47都道府県48支部を有し、各支部ならではの独自の工夫・取組みによりその活動も年々バラエティに富み活発になっています。中でも神奈川県には日体大全在学学生6986名の約18%にあたる1290名が在籍し、全国で二番目の在学学生、保護者数を誇る一大組織であります。神奈川県保護者会は役員の方々をはじめとし会員の皆様が一体となりキャンパス見学会等の各行事の運営及び開催を積極的かつ盛大に執り行っており、本部保護者会会長として心から感謝申し上げますと共に大変心強く感じております。

さて、2019年を迎え本年はラグビーワールドカップ、そして2020東京オリンピック・パラリンピックといった世界的スポーツイベントが目前に迫って参りました。まさに神奈川県保護者会の皆様はその歴史的スポーツイベントを身近に触れることが出来、一生において滅多に味わうことが無い興奮をライブで感じる事が出来るのです。

今、日体大生は勿論、選手のみならず監督、コーチ、スタッフとしてスポーツ界の最前線で活躍する多くの日体OB・OGの皆様は来るべき世界のステージで最高の結果を残す為に最大限の努力を尽くしている事と思います。その熱い思いに敬意を表すると共に、我々保護者会も日体大ファミリーとして一体となり最大限のエールを送り続けようではありませんか。

上記にも記しましたとおり、保護者会は全国規模の大きな組織であり、大学との情報交換により日体大に集まった学生達を十分にサポートする為の施策を進めています。また、近年では同窓会組織との連携強化を図っており、この組織力こそが日体大の強みであります。

まだ保護者会の活動に参加されたことの無い保護者の皆様におかれましては、是非とも保護者会活動に関わっていただければと存じます。

最後になりましたが、日本体育大学神奈川県保護者会の益々の発展と会員の皆様のご健康と学生の皆さんの健やかな成長を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

※学生数等は投稿時のものです。



神奈川県保護者会会長
石山 隆行

早春の候、神奈川県保護者会の皆様におかれましては益々のご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より保護者会の活動にご参加賜り心より感謝申し上げます。4年前息子の入学と同じくして大学の保護者会があると知り役員として参加させていただくことになりました。緑や自然豊かな健志台キャンパスの門をくぐると右手にとっても立派な陸上競技場があります。そこを毎回役員会の度に日体大陸上部の学生さんたちのパワーみなぎる練習風景や全国から集まり参加される陸上競技の記録会そしてあらゆる部活動練習を終えた学生達の学食での光景を目の当たりにして日本体育大学という伝統や熱意が感じられるとても貴重な経験をさせていただきました。そして、大学側と保護者会の皆様との橋渡しをし、また保護者会役員同志の部活や学年の垣根を越えた活動で多くの皆様と関わりをもつことができ充実した日々を過ごさせていただきました。保護者会の皆様にはこれからもお子さんを見守り応援していただくとともに保護者会の様々な行事に参加していただけるよう心よりお願い申し上げます。そして、親子で大学生活を送っていただきたく存じます。末筆ながらご挨拶とさせていただきます。

保護者会活動事業報告

行 事

平成30年

6月9日	平成30年度総会・健志台キャンパス見学会
10月20,21日	関東ブロック会議
11月3,4日	全国支部長連絡協議会
11月4日	日体フェスティバル出店 (神奈川県同窓会協賛)
12月8日	神奈川県同窓会主催「就職セミナー」 後援・取材
12月8日	世田谷キャンパス見学会

平成31年

1月2,3日	第95回東京箱根間往復大学駅伝応援・取材
3月25日	平成30年度保護者会 会報誌発行
4月3日	入学式・保護者会紹介チラシ配布 (予定)
6月22日	平成31年度総会・健志台キャンパス見学会 (予定)

平成30年度保護者会役員会

平成30年

7月21日	第1回役員会
9月22日	第2回役員会
10月20日	第3回役員会
11月17日	第4回役員会・会報誌編集作業

平成31年

1月19日	第5回役員会・会報誌編集作業
2月16日	会報誌編集作業
3月16日	第6回役員会
4月	第7回役員会 (予定)
5月	第8回役員会 (予定)

予 算

(単位：円)

(単位：円)

平成29年度決算報告書

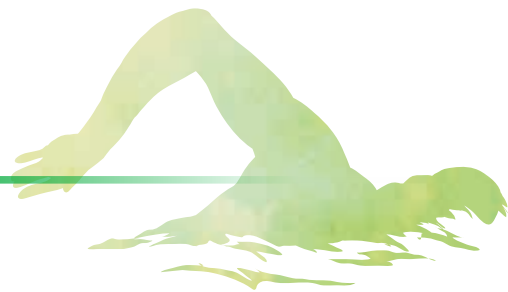
項目	収入	支出
繰越金	607,739	
支部活動補助費(28年度1241名)	1,393,000	
参加費収入等	7,000	
雑収入(預金利子等)	61,208	
総会・懇親会費		300,180
活動費		505,259
会議費		3,310
通信費		358,606
印刷・事務費		522,147
雑費		5,280
予備費		0
諸費支払合計		1,695,072
次年度繰越金		373,875
合計	2,068,947	2,068,947

平成30年度予算

項目	収入	支出
繰越金	373,875	
支部活動補助費	1,428,800	
参加費収入等	7,000	
雑収入	8	
総会・懇親会費		200,000
活動費		500,000
会議費		10,000
通信費		450,000
印刷・事務費		500,000
雑費		5,000
予備費		144,683
諸費支払合計		1,809,683
次年度繰越金		0
合計	1,809,683	1,809,683

保護者会総会レポート

平成30年6月9日(土)



平成30年6月9日(土) 健志台キャンパスにて平成30年度神奈川県保護者会総会が開催されました。すでに梅雨入りして週中ごろまで雨が降っていましたが当日は、晴れて蒸し暑いくらいの陽気でした。

第三部総会の出席者は、大学職員、本部保護者会、同窓会、関東ブロック代議員のご来賓を含め総勢70名ほどでした。参加学年で一番多かったのは、新1年生保護者でした。

総会内容としては、平成29年度保護者会活動・決算・会計監査の報告、平成30年度保護者会活動計画案・予算案がそれぞれ審議され、会員参加者の承認を得ました。また、新会長に石山隆行氏が指名、承認のもと就任し、新役員とともに新体制が発足されました。

保護者会の活動として、各パート長(会長、副会長、総務、会計、書記、広報)から運営内容の説明もありました。



健志台キャンパス見学会

平成30年度保護者会総会にあわせてキャンパス見学会が行われました。

〈第一部 講話・講演会〉

大学職員の赤平泰晟氏より、大学生活とキャリア支援のご講話をいただきました。学内ポータルサイト n-pass から、成績表の見方、卒業生の就職状況、学生生活についての説明がありました。新1年生保護者にはとても興味深い内容だったようです。

次の講演会では、平昌オリンピック金メダリスト高木美帆選手を世界のトップアスリートへ育て上げた青柳 徹教授より、「スケートにおけるコーチング～平昌オリンピックから～」と題してお話をいただきました。短い時間でしたが、青柳教授の生い立ちから始まり、スピードスケート選手時代の体験談、コーチ転向後の高木選手との出会い、そして金メダ

ルまでの道のりなどとても貴重なお話でした。学生たちへのメッセージとして、『将来到着すべき目標が明確にあるのか？ その目標を達成するには目標の大きさに見合った代償が必要である』と、力強いお言葉をいただきました。



〈第二部 昼食会〉

昼食会が学生ホール3階で行われました。事前準備を総務・広報からお手伝いの皆さん、そして学食を運営されているスクールパートナーズの方々のご協力により、日ごろの子どもたちの一番の人気メニューをまるで、子どもの小学校時代の

給食試食会の時のような気分で美味しくいただきました。メニューは三品のおかず(鶏の唐揚げ、照り焼き、豚の生姜焼き)そしてサラダ、ご飯、きのこのなめこ汁です。また、校内にあるヤマザキデイリーの「ぷにたま」という“ふわっ”とし



た食感のデザートもありました。また、恒例の抽選会では講演して下さった青柳教授からのサプライズのお品（キーホ

ルダー）も景品に加えて和やかであつという間のひと時でした。

〈 第三部 総会 〉

〈 第四部 キャンパス見学会 〉

①健志台キャンパス見学の最初は、屋外の温水プールを左に見ながら、ラグビー場・アーチェリー場・そしてなでしこリーグ1部の女子サッカー部も練習しているという人工芝のサッカー場です。奥に進むと野球場が広がります。野球部は2017年11月、第48回明治神宮野球大会・大学の部で日本一になりました。ゴルフ場は、部活で使用していない日は、一般の生徒も利用できるそうです。そして学食!! 説明の生徒さんの声が一番大きくなった場所です。美味しく、ボリューム満点。上の階にも学食があるのでいろいろなメニューが選べますとのことでした。



4月にはとても込み合う三省堂書店・ササキスポーツ、さらに保健医療学部のある9号館、スポーツマネジメント学部のある8号館へと進んでいきます。

私が通っていたころとは違い、今は黒板ではなくパワーポイントで授業はほとんど行われるそうです。お知らせもn-passで配信されますが、中には紙で連絡する先生もいらっしゃるようでびっしりとプリントが貼ってある掲示板は必ずチェックしなくてはいけない場所だそうです。

数々のメダリストを生んだ体操競技館、スポーツトレーニングセンターと回り、最後に陸上競技場です。当日も長距離の大会が行われていて、たくさんの選手・保護者で盛況でした。秋ごろからは、駅伝の練習が始まるそうです。



②キャンパス見学会が行われ、約60名の参加がありました。健志台の広大な敷地、素晴らしい施設、その施設を部活動だけではなく授業でも使用できるのは、日体大ならではの感じたツアーでした。5班に分かれて応援団部とプラスバン

ド部の2年生の皆さんに案内をしていただきました。

百年記念館前のライオン像(願いが叶う…)周辺からスタートして、緑あふれる道を進み野球場へと足を運ぶと、野球部の皆さんの清々しい挨拶が印象的でした。本格的なスタンドから広大なフィールドを望むと芝のみどりがとてもクリアで圧倒されます。サッカー場では、U-16の女子高生たちが試合をしていました。陸上競技場や体操競技館などでも競技会が行われていてキャンパス内は出場選手たちで賑わっていました。さらに、トレーニングセンターや接骨院が入っているキョウセンターなども完備され充実しており、さすが日体大らしい施設満載でした。スポーツのみならず、9号館1階には本物の救急車が2台駐車してあり救急医療学科の学生たちが同乗実習に励んでいます。廊下の壁面には熊本県災害支援など被災地におけるボランティア活動報告が展示してあり子どもたちの頑張っている姿を頼もしく思いました。普段は保護者があまり立ち入ることができない場所まで見ることができ、とても貴重な体験でした。ぜひ、日体フェスティバルなどを利用して、いろいろな競技の応援にも訪れたいと思いました。



関東ブロック代表者会

平成30年9月22日(土)

日本体育大学関東ブロック代表者会は全国7ブロックで構成されています。

毎年各ブロックが各支部主催の会を開催します。関東(関東一都六県+山梨県)ブロック代表者会は今年、埼玉県主催によりさいたま市の「ラフレさいたま」にて行われました。出席者は、本部役員と各支部の会長、副会長、大学(学長または副学長)と職員でした。関東ブロックは全国最大のブロックで学生数では1位東京、2位神奈川の順です。また、学内の情報、各支部の状況などの意見交換と親睦を目的としています。

大学からは、笠井里津子副学長と事務局の北川 浩職員が出席され、副学長からは大学の6つの活動【食育の勧め、他

大学との交流、西日本豪雨、第18回アジア協議会、日体フェス、第56回実演会】と日体大の関りについてお話があり、本部雑賀会長からは今年日本各地で災害が多いこと、学内で起こる諸問題への取り組みのお話がありました。

さらに、日体大を取り巻く部活動の環境、学生使用の学バス、周辺住民との関わり、支部活動の活発化、学友会、リスクマネジメント、学生支援センターなど、さまざまな関わりについて話し合いながら理解を深めていきました。

他大学にも保護者会や、後援会などがありますが、大学側と意見交換ができ、同窓会との関わりや保護者会が全国構成で各支部が主体性を持って活動ができるのは日本体育大学の特徴ではないかと思います。



全国支部会長連絡協議会

平成30年11月4日(土)

今年も日体フェスティバルと合わせて全国の支部会長連絡協議会が世田谷キャンパスで開催されました。47都道府県の48名(北海道は広域の為2保護者会)の会長と各ブロックの代議員、保護者会本部役員が出席しました。大学側から松井・笠井両副学長・事務局長・学生支援センター職員が出席されました。大学側からは近況報告や学生の出席状況の閲覧ならび各部活動の報告がなされました。

保護者会本部の会長より次回総会に向けて中間決算報告と次年度の活動方針の考え方の提案がされました。次に大学への質疑では東京、神奈川など学生数の多いところに比べ地方の保護者会では次世代の役員入会が少ない事に対するの質疑がありましたが4~5名の会長より色々な提案が上がり実行してまいりますとしています。

このように、今回は保護者会の件でしたが大学に年1回学生生活、勉強、就活など改善のため大学へ要望し改善を図る活動をしています。



日体フェスティバル

平成30年11月4日(土)

①出店の11月4日(日)は、あいにくの小雨混じりの肌寒い日になってしまいました…。

販売したのは焼き、煮込みのシロコロホルモン。煮込みの方が人気の様子？

おかげさまで完売しました！

各ブースともに学生さんたちの熱い呼び込み合戦！隣のブースでは男の子たちの真剣にお好み焼きを焼いている姿が、斬新でよかったです。

日体らしく体力測定や恒例のミス・ミスターコンテスト、歌うま選手権、夕方からはお笑いのライブ、私自身時間がなくて見れずに残念。興味を持たれた方、来年は一緒に見てみませんか？



②今年は世田谷キャンパスにて第52回日体フェスティバル2018が開催されました。神奈川県同窓会主催、保護者会はお手伝いで伺い、シロコロホルモンを出店しました。活気溢れる模擬店エリアはたくさんの方で賑わっていました。準備段階のスタート前から、「あっ、シロコロだ!!」と話し



ながら模擬店前を通って行く学生さんが何人もいたのを見て、今年4回目の出店ということもあり、たくさんの方に知られてきているのかな？と思い、嬉しくなっていました。寒かったため、煮込みが多く出ていましたが、最後の方は焼きの売上がどんどん追いつき、最後はちょうど同じタイミングで完売となりました。全部で約400食もの売上があり、食べてくださった方々、本当にありがとうございました。

初めて日体フェスティバルに参加させていただき、同窓会の方、役員の方々、同窓会お手伝いの学生さんたちと皆で協力し、楽しくお手伝いすることができました。交代で大学内のイベントもいろいろ見学できて、美味しいものも食べられ、充実した1日が過ごせました。また、日体大生の礼儀正しさ、てきぱきとした動作、細やかな気遣いを間近で感じることができた1日でもありました。'19年の健志台での日体フェスティバルも楽しみにしています。



就職セミナー

平成30年12月8日(土)

神奈川県同窓会主催の就職セミナーが世田谷キャンパスにて開催されました。

まずは、学生支援センターの長井さんから、「学校・企業で求められる人材」をテーマに、①就活生が就職先企業選択時に重視点の推移から見る学生側の意識の変化 ②神奈川県教育委員会と東京都教育委員会それぞれの教育に求められる教師像と企業の求める人材像 人物重視→明快な思考・豊かな柔軟性、自分にしかできないこと＝オンリーワンを持つ独自性が必要であるお話がありました。

次に、教員・公務員・民間企業でご活躍されている日体大OBの方々より、「就職に対する心構え」として、各採用試験の詳細なお話があり、面接での人物重視、教育、自治体、企業に携わることへの思いを感じました。また、進路の決まった4年生の皆さんより、進路選択・就職活動など体験に基づいたお話は、どの進路も早めの準備と“勉強”はどのジャンルにも不可欠であること、内面を高めていくことの大切さ、



それらが立派な社会人につながると感じました。保護者への希望としては「就活中は何も言わずに見守ってほしい」という本音が聞けました(笑い)。

最後に、職業ごとに教室に分かれ、質疑応答を含めたお話がありました。次年度以降の就活生の諸君や保護者の方々、いかがでしたか？

是非ともセミナーをご参考にされて早めに就活の準備をなさってください。



世田谷キャンパス見学会

平成30年12月8日(土)

今年度の世田谷キャンパス会見学会は、午前・午後に分かれて就職セミナーと同日に行われました。

〈第一部 講演会〉



今回は本学保健医療学部で蘇生・災害医療の教鞭をとられながら、救急医療の現場でご活躍の小川理郎教授に「救急医療について」と題しご講演をいただきました。

救命救急医療とは今すぐに適切な処置を行わないと病状が悪化して生命そのものが危険な状態に陥る傷病者の診療をいいます。小川教授は、まさにその現場でご活躍されている医師ですが、そのような傷病となってしまう根幹的な背景の問題として親子の絆の重要性を訴えられておられました。

小川教授は日本に初めてドクターヘリを導入することに尽力されたお医者様です。病院前救護・医療の重要性をどのよ

うに学生に教えているかを参加された保護者の皆様に説明いただきました。その中で、メディカルコントロールについて現場での実践指導となるオンラインMC、救急救命士の教育と指導を行うオフラインMCのそれぞれで学生にどのような指導を行っているかご紹介いただきました。学生は実際の医療現場に実習生として参画しています。とても厳しい第3次救急医療現場での体験では、学生への心のケアも大切だと述べられていました。オフラインMCではプロの医療専門職であることの具体的な意味を教え自覚を持たせること、命を大切にす奉仕の精神、日進月歩で進化する医療を勉学する精



神を教えておられ、そのための全国の学生メディカルラーへの参加、米国シアトルでの世界一の病院前救急救命システムの研修、AEDの製造メーカーで実際の製造現場を見学していることなどをご紹介します。

講演会最後の質疑応答では、参加した保護者から「日体大

生が小川教授の講義や研修を受けられることを誇りに思う」と発言があり、小川教授は「日体大の4年間のうちにあらゆる事を経験させています。本当のプロになるという学生の心に火をつけることが私の仕事です。」と答えられていました。

〈 第二部 ティータイム 〉

保健医療学部の小川理郎教授の講演が終わってから、キャンパス見学会までの30分間。ティータイムが用意されました。こんなあたたかい配慮に感謝です！

保護者の方々とテーブルを囲み、お茶とお菓子をいただきながら初めてお会いした方とお話をしました。そうしたら、なんと娘と同じサークルに入っているお子さんのお母さんであることが判明!!

つい1週間前に行われた発表会のことで、話が盛り上がりました。サークルでは保護者会はないので、このような形で

お話ができて嬉しかったです。神奈川県保護者会があって本当に良かったです。

また、ティータイムでは抽選会も行われました。名前が呼ばれるのではないかとドキドキしながら楽しみにしていましたが、とうとう呼ばれることはなく残念……。でも参加賞で素敵なカラーのクリアファイルをいただきました。もちろん、日体大のロゴ入りです。お茶とお菓子とおしゃべりで英気を養った後は、設備の整ったキャンパス見学を楽しみました。

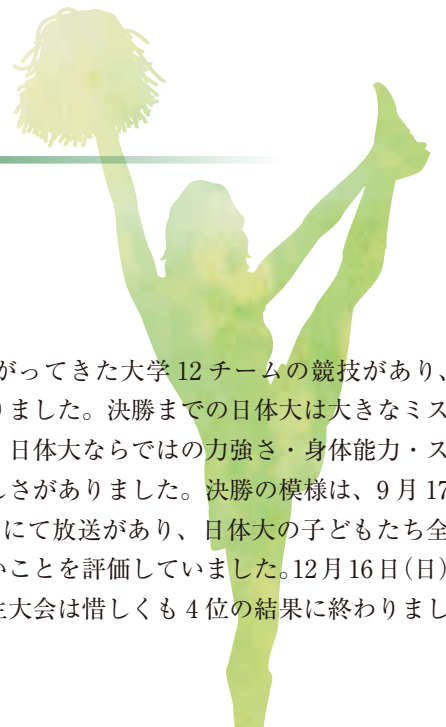


〈 第三部 キャンパス見学会 〉

世田谷キャンパス見学会では、5グループに分かれて現役生の方々に校舎を案内していただきました。私たちのグループは教員試験に合格された笑顔の素敵な4年生でした。スポーツ棟と教育棟は広くてきれい、そして設備が整っているのに驚きました。校舎を見学しながら授業や試験の様子なども教えていただき、参考になることがたくさんありました。学生さんと話しながらの見学会、普段見ることができない場所も見られたのでとても楽しい時間となりました。



部活・サークル応援レポート



チアリーダー

チアリーディングは、ダンス中心と競技（体操・ダンス）とに分かれます。多くの人はその違いが分かりにくいと思います。例えば、高校生が全米優勝で映画化された「チア☆ダン」はダンスですが日体大のチアリーディングは競技です。



昨年、競技としてのチアリーディングは群馬県高崎市にて世界大会があり様々な分野で日本が優勝を納めています。日本はチアリーディング世界一とも言えます。

チアリーディングではチーム名で呼ばれることが多く、学校名+チーム名で表示され、日体大は「日本体育大学 VORTEX（ヴォータックス）」です。

基本ルールとして、1チーム16人（8人以上）・競技時間は2分30秒・点数は技術力、難易度、完成度すべて100点の300点満点。そして、「元気」「勇気」「笑顔」が基本です。

9月2日（日）に行われたジャパンカップ決勝戦では前日

の準決勝を勝ち上がってきた大学12チームの競技があり、日体大は3位となりました。決勝までの日体大は大きなミスもなく立ち上がり、日体大ならではの力強さ・身体能力・スピード・高さ・美しさがありました。決勝の様子は、9月17日（月）NHK BS1にて放送があり、日体大の子どもたち全員の身体能力が高いことを評価していました。12月16日（日）に開催された大学生大会は惜しくも4位の結果に終わりました。



インラインホッケー

インラインホッケーは、簡単に言うとアイスホッケーの室内版です。アイススケートの代わりにインラインスケートを履いて氷上ではなく地表でホッケーするスポーツです。

平成最後の関東大会（5月 栃木）男子は準優勝、女子は優勝、全国大会（7月 兵庫）男子は3位、女子は4位という成績を収めました。今回の全国大会は男女ともに悔しい思いをしたようでしたが、決して恥じることなく次回に向けて反省と見直しをしてまた挑んでください。卒業して社会人になっても続ける人もいます。勝った時の仲間、負けた時の仲間、その時の笑顔・泣き顔などいろんな場面の感動を忘れずに。



4月になって新入生が「インラインホッケー」に入りたい！って来てほしいですね。（もちろん、他学年も Welcome とのことです）



アメリカンフットボール

2018年度最終戦は、関東学生アメリカンフットボール1部リーグTOP8残留をかけた、来年も日本一を目指す環境を残すための大勝負！後輩たちへの思いと名門校としての意地とプライドのあふれるプレイを見せて勝利しました。

鈴木主将は一人ひとりが主体性を持ち、考えて行動できるチーム作りをしてきました。昨年手術をし、試合をしながら体を戻していく苦難の多い状態でしたが、学生最後の試合でインターセプトを決め、主将としてプレイでも引っ張っている様子が観戦する人の胸を熱くしました。ぶつかり合いがメインのスポーツに思われがちですが、オフェンス、ディフェンスの高度な作戦のやり合いなので、そこに注目して観戦すると流れがわかり面白くなります。

ぜひ、実際に足を運んでいただけたらうれしいです。



社会体育研究会

社会体育研究会は“日本一の指導者を目指して！”という思いのもと、今年で発足43年目を迎えました。指導者になるために必要となる力「人前で話す力・人を動かす力・企画力」を身につけるべく、学校での通常活動をはじめ、ボランティア活動等を通して自身の成長につなげることを主としております。身体に障害の有無に係わらず「一緒に秋の一日を

楽しく過ごそう」をモットーに毎年行われており主催は合同運動会実行委員会、委員長は三笠宮遥子女王殿下です。

今回の新しい種目ボッチャチャは2020東京オリンピック・パラリンピックの正式種目ボッチャを参加しやすく日体大社会体育研究会が考案しました。皆さん楽しそうに参加されていました。



神奈川県保護者会の歴史

「平成」という年号も今年4月で終わろうとしています。今回広報担当が引き継いでいく一冊の保護者会会報誌のファイルから紐解いて保護者会会報誌の歴史を少しご紹介したいと思います。平成6年12月5日創刊号が最初の会報誌で当時は綿井永寿学長でした。書道家越水春汀氏のロゴでタイトルは「東京都 父母会々報」。学長や父母会会長のあいさつ文、父母が行事（日体フェスティバル・体育研究発表実演会）に参加した感想文、学友会クラブ紹介、就職部だよりと4ページで収まる内容に写真も学長と父母会長のためのシンプルなモノクロの会報誌がスタートでした。役員は6名。以下平成9年から東京都と神奈川県の父母の協力のもと活動し、役員も10名に増え、会報誌も6ページになりました。平成10年から父母会総会が開催、全国三十二都道府県に父母会が設立されていること、そして更に父母会の組織化を進めているなど父母会の成長が見られました。また、長野オリンピックに向けて日体大から5人の選手が選ばれ、スピードスケートの日本代表選手の一人に昨年6月健志台にて総会講演会で講演をしてくださった青柳 徹教授がいらっしゃいました。

平成11年から神奈川県父母会が発足し、役員も12名に増え、箱根駅伝観戦、実演会観戦記事も増えてきました。平成12年父母会から保護者会になり、会報誌のタイトルロゴが書道・華道家の澁谷蘆雪氏書体に変わりました。この頃、箱根駅伝の応援に向けて役員の揃いのウィンドブレーカーや手旗を作るなど神奈川県保護者会の役割の一つとしての活動が記載されています。また、関東女子駅伝に向けて駅伝経験の少ないチームの様子や緊張感なども取材されていました。そして、総会や健志台キャンパス見学会を総会・散策リポートとして活動が始まったころでもあります。こうしてみると、保護者会の活動が活発になり、役員数も20名近くに増え、健志台キャンパス見学会に続き世田谷キャンパス見学会も開催されました。平成13年には東京都保護者会が日体フェスティバルの取材をしていました。そしてその年の秋9月11日アメリカ同時多発テロ（9.11）が深刻化する中、日体大深沢キャンパス* 2号館全体を火災で失うという悲しい出来事がありました。

*世田谷キャンパスの別称



平成14年からは保護者会の行事も総会や箱根駅伝を中心とした記事が平成17年の16年ぶりの箱根駅伝準優勝へと大きなステップを導き始めました。また、日体大女子短期大学部と名称を変えて就職などの改革も図った年でした。平成18年には保護者会の会報誌もモノクロからカラー版に、紙質もパンフレットのような上質になり、表紙に健志台のグラウンドが載せられ、活動報告も入り、役員会に加えて総会や健志台・世田谷キャンパス見学会などの行事のあとに会報誌編集会議が行われていました。そして、神奈川県保護者会、日体大保護者会のホームページが掲載されるようになり県同窓会主催の「就職セミナー」の後援と少しずつ現在の行事の土台がありました。平成22年には日体大OBの講演会や関東ブロック代表者会などのコラムも始まり、この年の会報誌までは2月に発行されていました。役員も30名近くになっていました。平成23年からの会報誌の発行は3月に発行され表紙も自由に写真や学長、保護者会会長のあいさつ文が掲載されています。平成24年の会報誌には巻末に神奈川県保護者会会則がありました。まだ記憶に新しいでしょうか、6年前の箱根駅伝は30年ぶりの総合優勝

の凱旋パレードが表紙となって12ページのBigサイズ。以後ページ数は変わらず行事の記事や懇親会、会員同士の親睦を深める目的に昼時、または夕方に飲食会を計画、近年からはその場に抽選会として、日体大グッズを景品として用意するなどの準備も増えました。役員数も40名を超えました。

今回平成6年から現在の保護者会の歴史を振り返って保護者会を続けていくことの重要さとその重みを感じました。それは、子どもたちが通う場を直接、間接的に見ることができるということ、同じようにその子どもたちを持つ保護者、かかわる教職員の協力がなければ成り立たないということです。粗削りでしたが何かお感じになるものがありましたら幸いに思います。年号が変わっても保護者会先輩たちから私たち後輩へ渡してくれたものを受け継いでその繰り返しをしながら皆さんへお届けできればと思います。



第95回

箱根駅伝観戦記



平成31年1月2日・3日清々しくもやや肌寒い中、第95回東京箱根間往復大学駅伝競走が開催されました。今回は記念大会であり、第94回大会のシード校10校の他に「関東インカレ成績枠」から1校、昨年10月に行われた予選会上位11校、関東学生連合チームをあわせた例年より2校多い23チームの参加で行われた平成最後の箱根駅伝でした。

2日大手町でスタート前に具志堅学長より、監督をはじめ選手、部員たちにエールが送られ応援団、チアリーディングの力強い応援を背にして1区2年池田選手は初の駅伝メンバー入りで緊張しているようでした。花の2区は3年山口選手、往路で一番長い距離と坂を頑張り、第94回は8区で3位を守りました。3区2年岩室選手も初の駅伝メンバー入りです。戸塚から湘南エリアのR134沿いは陽射しも強く暑い中、熱い歓声が響きます。4区3年は廻谷選手、当日選手変更でこの区を任されました。第94回は6区箱根町から小田原を走った経験者です。山登りの5区は4年室伏選手、第92回も同様、第93、94回は9区を走り抜けたベテラン選手です。

3日復路6区は3年濱田選手、初出場で一斉スタートとなりました。早朝晴れていても白い息から寒さが伝わります。箱根からの山道と下り坂はきついものです。7区は4年志賀選手、初の駅伝メンバー入りです。最初で最後の箱根駅伝でした。8区は3年森田選手、髪を短くしたスリムな初出場選手です。茅ヶ崎サザンビーチ辺りの沿道から数メートルの日体大登り旗と黄色い声援が届いたでしょうか。数人の選手たちに混じって先頭右側を走り抜けて行きました。9区は4年林田選手、主将で初出場でしたがチームを引っ張り、やはり最初で最後の箱根駅伝でした。復路アンカーは3年中川選手です。当日選手変更によりアンカーを任されました。

第93回は8区、第94回は10区3位の成績を収めました。平成最後の日体大の箱根駅伝は往路16位、復路9位、総合成績は惜しくも13位で終わりました。次の時代の幕開けはシード権獲得からのスタートになりますが、必ず大手町に戻ってきてください。

「駆け抜ける日体大!」お疲れさまでした!!



応援団部 編



今年は南東に細い月と金星の接近、昨年は西のスーパームーンに見守られつつも前だけを見て我が家の応援団の一員は日比谷セントラルビル前に向かいました。少ししてから私も出発。地下鉄内幸町駅改札を出て近くにあった地図を見ていると、かすかに聞こえる太鼓と金管楽器のメロディーに導かれ、ワクワクしながら階段を上につれ元気な応援団の声も聞こえ、スタートから約2km、本校の応援場所にたどり着きました。日は昇ってきたもののビル群で日陰の1帯でしたが、男子チア部員は半袖です。7時から池田選手が走りすぎるまで応援団三部一体となり熱い熱いエールを送っていました。選手一団通過後は校歌を歌い、余韻に浸る間もなく撤収し、バスに乗り込み次の応援場所の芦ノ湖へ向かいました。



日本体育大学神奈川県保護者会会則

総 則

(事務局)

第1条 本会は日本体育大学神奈川県保護者会と称し、事務局を神奈川県保護者会会長宅に置く。

(目的)

第2条 本会は会員相互の融和、親睦と緊密な連絡を計り、保護者会本部と協力し、学生の健全なる育成を計り、大学と会員のリアルタイム双方向通信（大学からの現況や就職、クラブ活動等、会員からの質問、意見、要望等）のパイプ役となり大学に最大限の協力をし、支援していくことを目的とする。

(活動)

第3条 本会は前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- (1) 保護者会本部と密接な連絡を取り、各支部との活動情報交換をする。
- (2) 学業に関する年間計画及び学生生活一般に関する情報交換。
- (3) 進路及び研究修養に関する支援。
- (4) その他必要な活動を行う。

(会員)

第4条 本会の会員は、神奈川県在住の保護者又はこれに代わる者（以下保護者という）をもって構成する。

役 員

第5条 本会は、原則として次の役員を置く。

会 長 1名
副会長 3名
書 記 4名
総 務 4名
広 報 若干名
会 計 4名
監 査 2名

- (1) 会長は本会を代表し、会務を総括し、会議の議長になる。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長不在のときは代理を務める。
- (3) 書記は議事を正確に記録し、各種の会議に報告する。
- (4) 総務は会議の会場手配及び懇親会の手配を担当する。
- (5) 広報は大学、保護者会本部、各支部からの情報の収集及び会報・その他の発行を担当する。
- (6) 会計は本会の会計事務をつかさどり、定例総会に会計監査の結果を報告する。
- (7) 監査は随時会計の状態を監査し、定例総会に会計監査の結果を報告する。

(選任)

第6条

- (1) 役員は定例総会において保護者の中から選出する。
- (2) 会長は役員の中から役員会で選出する。（原則として卒業年の保護者）
- (3) 副会長、書記、総務、広報、会計、及び監査は役員会で決定する。
- (4) 同窓生は役員の3分の1以上を占めず、なお、会長にはならない。

(任期)

第7条

- (1) 役員の任期は原則として1年とし、学生の規定在籍期間を越えない範囲で再任を妨げないものとする。
- (2) 役員の任期は、定例総会終了後引き継ぎを完了するまでとし、会の運営が円満に行われるよう協力するものとする。

顧 問

第8条 本会に顧問を置くことができる。

- (1) 顧問は会長が役員会に諮って委嘱する。
- (2) 顧問は原則として会長経験者とする。

総 会

第9条 総会は定例総会、臨時総会とし、会長が召集する。

定例総会は年1回開き、役員を選出、予算、決算、活動その他、重要事項を審する。ただし、臨時総会は会長が必要と認めたととき、又は会員の半数以上が会長に要望したとき、臨時に開催することができる。

(役員会)

第10条 会長が必要のあるときは随時役員会を開き、会務を審議決定する。

役員会は会長、副会長、書記、総務、広報、会計、監査をもって構成する。

第11条 総会及び役員会の議決は出席者の過半数の同意を得るものとする。

会 計

第12条 本会の経費は本部よりの支部活動補助費、寄付金その他の収入を充てる。

第13条 会計年度は4月1日から翌年の3月31日までとする。

細 則

第14条 この会則に定めるものの他、定例総会開催時期等必要事項は役員会で決定する。

第15条 諸般の事情により定例総会開催が不可能と役員会が判断した場合は、役員会を定例総会に代わって開催できるものとし、議決事項を有効とする。

この場合、決算報告等は会報誌等に掲載し報告するものとする。

第16条 会則を変更する場合は、役員会の議を経て決定する。

付 則

1. この会則は、平成7年4月1日から施行する。
2. 一部改正したこの会則は、平成9年4月1日から施行する。
3. 一部改正したこの会則は、平成10年4月1日から施行する。
4. 一部改正したこの会則は、平成11年4月1日から施行する。
5. 一部改正したこの会則は、平成14年4月1日から施行する。
6. 一部改正したこの会則は、平成17年4月1日から施行する。
7. 一部改正したこの会則は、平成28年4月1日から施行する。

平成30年度 神奈川県保護者会役員

平成30年度は41名の役員で活動しました。構成は、会長・副会長3名（各学年1名）・会計監査2名・総務4名（各学年1名）・書記4名（各学年1名）・会計4名（各学年1名）・広報21名（1年1名、2年12名、3年5名、4年3名）です。

役員会は保護者会年間行事や同窓会協賛お手伝いなど準備の前に1回、その年にもよりますが、第2または第3土曜日の午後2時間くらいの会議を健志台キャンパス内の会議室で行います（今年度は8回）。

各担当業務ですが、総務は行事の会場準備、飲食手配、懇親会の中で抽選会をする場合の景品購入手配。書記は役員会の議事録作成・配信。会計は保護者会での活動諸経費の管理・

まとめ。広報は会報誌の作成・発行がメイン業務ですが、行事の会場案内・設営のお手伝い、キャンパス見学会の校内見学ツアーの付き添い、写真撮影など人数が多いのであらゆる場面で活躍しています（笑）。

一昨年春、入学式の際に保護者会ご案内のチラシを配布した効果で多くの保護者会入会者がありました。まだ、現1年生は少なく、他学年併せて役員募集中です。子どもたちや大学のためにご協力、ご参加をお願いいたします。

保護者会に関するお問い合わせは神奈川県保護者会ホットメールアドレスへお願いいたします。（nittai.k.hogosha@live.jp）皆さまの強い志をお待ちしています。



編後記

会報誌作成・発行に取材や写真の提供をして下さった皆さまに先ず感謝申し上げます。平成の締めくくり「神奈川県保護者会の歴史」を載せて2ページ増やしました。

保護者会の中で広報委員として活動した4年間は、正直に行事の準備が大変でしたが関わることができましたことを本当にうれしく思います。これから新しい時代を迎えますが、日体大の子どもたちの活躍を応援し、保護者会へのさらなるご協力をお願い申し上げます。

4年 挾間 明美



日本体育大学保護者会

<http://www.nssu-apg.jp/>

各都道府県保護者会の活動の様子が掲載されています。

日体大 <http://www.nittai.ac.jp/> をリンクしています。

